

令和2年度 福岡市手をつなぐ育成会総括事業報告

〔令和2年度の法人の取り組みについて〕

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が全世界に爆発的に感染拡大し、現在世界中で未曾有の公衆衛生上の危機に発展しています。全国の福祉事業所でも、施設運営にかつてない支障が生じ、利用者やその保護者への影響は甚大なものです。

今年に入り、変異型ウイルスにより、再び感染拡大に転じ、新型コロナウイルスワクチン接種が始まりましたが、未だ予断を許さない状況です。そのため、法人職員一体となり、それぞれの立場で今できることを共に取り組み、事業所本来の姿を取り戻す日が一日も早く来るように願いつつ日々の業務に努めています。

さて、当法人の昨年度の事業としましては、コロナ禍の厳しい状況ではありましたが、福祉サービス事業は全体としての収支は順調に推移しました。しかしながら、コロナ禍の中、予断を許さない状況は依然として続いています。また、法人としましては働き方改革に対応できるよう（サービス業として当法人は大企業に属する）組織・人事・給与等検討会議で協議を進め、順次対応を図っています。

福岡ひまわりの里においては、移転新築計画に基づき、早良区四箇5丁目にその用地を確保することとなりました。今回のような感染症等も含め、施設内での対策や医療機関との連携の困難性に鑑みてのことですが、現在のところ、滞りなく計画を進めている処です。

権利擁護の取り組みとしましては、福岡市における「差別解消法を推進するための条例」の啓発推進のため、「福岡市障害者差別をなくす会」の活動に参画しました。また、今年度も法人内では保護者会と合同で取り組む虐待防止対応チームによる「虐待防止アンケート調査」「利用者満足度調査」の調査報告をもとに職員向け研修を行い、各事業所の利用者が安心して満足して利用していただけるよう取り組んでいるところです。育成会の社会的使命（ミッション）である「権利擁護」「政策提言」は、その事業を推進するための源となるべき経営の健全化の視点を含め、各施設長をとおり法人職員全員で共有して参ります。

地域貢献につきましては、「ふくおかライフレスキュー事業」に参画し事業運営に協力して参りました。ただ、先の見えない社会情勢の不安に鑑み、法人のステークホルダーだけでなく、地域住民のニーズへの対応、情報の発信に一層力を入れて参ります。

福祉人材の確保につきましては、予定していた採用数を確保することができました。今回の新型コロナウイルス感染拡大による経済混乱もあり労働市場の先行きは依然不透明ですが、今後も人材の確保は厳しくなるものと予想しています。将来の法人を支える人材の確保についてはこれまで以上に精力的に進めて参ります。

全国手をつなぐ育成会連合会は令和2年4月1日をもちまして新たに法人格を取得して「一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会」となりました。事業をしていくためにも法人格が必要とされるからです。活動の柱になるのは「権利擁護」とそのため

の「政策提言」であることは従来と何ら変わりません。当法人も正会員の一つとしてこれまでと同様に活動してまいります。

1 法人理念

- 1、 当事者・家族の願いを大事にして、職員を含む関係者一人ひとりを大切にしたい運営に努めます。
- 2、 人生の主人公として、障がいのある人がその人なりの生き方や生きがいを作り尊厳を持った暮らしができるよう支援します。
- 3、 障がい者団体を始め他の機関との連携を図り、地域に開かれた取り組みを行います。
- 4、 新しい道を切り開いていくために学ぶ機会を大切にします。

2 経営方針

- 1、障がいのある人たちの働く場、生活する場、活動する場、訓練の場づくりを進めます。

○法人としてこれまで培ってきた経験・知識をもとに、個々のニーズに応じライフステージを通じた支援に取り組み、福岡市における障がい特に知的障がい児・者の福祉の向上に寄与することを目指します。

- 2、風通しが良い働きがいのある職場づくりを目指します。

○すべての職員が法人活動に積極的に参画意識をもって参加することができるよう、経営に職員の意見を反映させる等により活力のある職場づくりを目指します。

- 3、事業について障がい当事者や保護者によく説明するとともに運営協議会を定期的を開催してその意見を伺います。

○事業の透明性を高め、育成会の基盤である保護者会と連携した運営を目指します。

- 4、組織を不断に見直し、財政の健全性を確保します。

○育成会活動を次世代に引き継ぐために、社会福祉法人を取り巻く環境の大きな変化を踏まえて、組織の適正化や財政の健全化を確保します。

- 5、計画的な研修を行い人材の育成をはかります。

○法人活動に熱意と使命感を持った人材を育て、専門性の維持・継承を行うため研修計画を立て継続的に取り組みます。

3 事業の取り組み

(1) 評議員会の開催

開催年月日	内 容
定時評議員会 令和2年6月26日 9名出席	〔議案〕 第1号 令和元年度 計算書類（案）について 第2号 平成30年度 計算書類について（案） 第3号 監事の選任（案）について 〔報告事項〕 (1) 社会福祉充実残額について (2) 令和元年度事業報告について (3) 令和元年度 福岡市指導監査の報告について (4) 福岡ひまわりの里の移転新築に係る土地購入契約（仮）について (5) 福岡ひまわりの里の移転新築に係る設計監理契約締結について (6) 新型コロナウイルス感染症への当法人・事業所の対応について
第1回臨時評議員会 令和3年3月28日 決議の省略による	〔議案〕 第1号 定款の一部を改正する定款（案）について

(2) 理事会の開催

開催年月日	内 容
第1回理事会 令和2年6月10日 10名出席	〔議案〕 議案第1号 令和元年度事業報告（案）について 議案第2号 令和元年度計算書類（案）について 議案第3号 令和30年度計算書類について 議案第4号 新役員候補者（案）について 議案第5号 就業規則の一部を改正する規則（案）について 議案第6号 令和2年度定時評議員会の開催決定（案）について 〔報告事項〕 (1) 社会福祉充実残額の報告について (2) 令和元年度福岡市指導監査等の結果について (3) 福岡ひまわりの里の移転新築に係る土地購入契約（仮）について

	<p>(4) 福岡ひまわりの里の移転新築に係る設計監理契約について</p> <p>(5) 新型コロナウイルス感染症への当法人・事業所の対応について</p>
<p>第2回理事会 令和2年10月30日 決議の省略による</p>	<p>〔議案〕</p> <p>第1号 評議員候補の推薦（案）について</p> <p>第2号 就業規則の一部を改正する規則（案）について</p> <p>第3号 評議員選任・解任委員会の開催決定（案）について</p> <p>〔報告事項〕</p> <p>(1) 令和元年度 福祉充実残額について</p> <p>(2) 理事長職務執行状況報告書</p> <p>(3) 福岡ひまわりの里の移転新築計画の進捗状況について。</p> <p>(4) ひまわりパーク六本松の事業所移転について</p> <p>(5) 新型コロナウイルス感染症による事業への影響について</p>
<p>第3回理事会 令和3年2月26日 決議の省略による</p>	<p>〔議案〕</p> <p>第1号 定款の一部を改正する定款（案）について</p> <p>第2号 令和2年度資金収支第1次補正予算（案）について</p> <p>第3号 経理規程の一部を改正する規程（案）について</p> <p>第4号 理事長専決事項の一部を改正する専決事項（案）について</p> <p>第5号 第1回臨時評議員会の召集決定（案）</p> <p>〔報告事項〕</p> <p>(1) 令和2年度社会福祉法人等指導監査の結果について</p> <p>(2) 令和2年度社会福祉施設の書面監査の結果について（福岡ひまわりの里）</p> <p>(3) ライフサポートをつなぐ実地指導の結果について</p> <p>(4) 福岡ひまわりの里移転新築計画の進捗について</p>

<p>第4回理事会 令和3年3月26日 9名出席</p>	<p>〔議案〕</p> <p>第1号 令和2年度資金収支補正予算（案）について 第2号 令和3年度 事業計画（案）について 第3号 令和3年度 資金収支予算（案）について 第4号 情報公表規程（案）について 第5号 就業規則の一部を改正する規則（案）について</p> <p>〔報告事項〕</p> <p>（1）理事長職務執行報告 （2）早良区第二障がい者基幹相談支援センター センター長について （3）福岡ひまわりの里移転新築計画の進捗状況について</p>
--------------------------------------	---

（3）運営協議会の開催

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施しておりません。

（4）事業推進会議の開催

令和元年度は以下の会議を開催し、事業の推進及び改善に努めてまいりました。なお、令和2年4月から9月末までは、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から各検討会議・委員会活動等は見合わせておりました。ICT環境の整備が整った10月以降、WEB会議システムを利用して各種会議を行っております。

①法人運営について

ア経営会議

法人の経営方針及び職員の人事管理等について理事長・事務局長・施設長で年2回開催し協議を行い法人運営の推進を図りました。

イ運営会議

毎月1回、事業の推進や計画並びに各種検討会議の状況や施設運営の状況、保護者会との連携、福祉情報の伝達等法人の運営に関わる事項について、理事長・事務局長・施設長・保護者会会長等で協議を行い、円滑な事業推進を図りました。

② 各種検討会議について

ア組織・人事・給与等に関する検討会議

法人全体の組織・人事・給与に関する検討を、理事長、理事、施設長、事務局長、事務局職員等で構成する小グループ検討員会を中心に年間3回実施しました。

労務管理の整備を進め、人事管理・勤怠管理システムの導入を行いました。また、特定処遇改善加算の支給について検討を行いました。

イ 福岡ひまわりの里あり方検討会議

福岡ひまわりの里の課題や今後の方向性について、理事長、施設長、事務局で検討を進めました。

移転新築用地の早良区四箇の手続き、建物の建築設計について、設計業者等と協議しました。令和3年度中に移転用地の取得と開発工事開始について協議をしました。

ウ 虐待権利擁護・虐待防止機能に関する検討会議（虐待防止委員会）

障害者虐待防止法の趣旨を実現するために、各事業所の職員が中心となって「虐待防止対応チーム」を設置し、協議を行いました。

今年度は、利用者への満足度調査は行いましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から各事業所の施設現場訪問は行いませんでした。また、利用者への満足度調査の結果を元に行う全職員対象研修は、各事業所で実施しました。

エ 共同事業検討会議

交流事業と、実践発表会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から開催を見合わせ延期しました。

オ 本人活動支援会議

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、本人主体の自主活動を見合わせました。

カ 事業部・A型検討会議

従業員の高齢化や厳しい運営状況・業務受託等の関係で不安定な運営が続く就労継続支援A型事業所と清掃事業について理事長・施設長、事務局長・主任・現場職員等で今後の方向性や課題解決に向けて年度末に1回開催し協議を行いました。

令和2年度より、従業員の勤務時間を6時間（社会保険加入）から4時間（社会保険未加入）に切り替えました。A型事業所についても、利用者の高齢化が進み体力や能力の低下も見られるようになったため、令和2年度より勤務時間を事業部従業員と同じく4時間に変更しました。

キ 法人運営強化を図る為の会議の開催について

事務担当者会議 年2回実施（会計部門の監査指摘事項について確認等）し

ました。

税理士による助言指導 年2回実施（予算・決算等について）しました。

施設管理者・事務担当者会議 年2回実施（予算・事業計画作成時等）しました。

③ 各種検討委員会について

ア 虐待防止委員会

報告については②各種検討会議のウのとおりです。

イ 作業開拓工賃向上委員会

年2回、各事業所の現状報告と対応について意見交換しました。

ウ 高齢利用者支援委員会

生活介護系事業所3事業所（ひまわり園・福岡ひまわりの里・ひまわりパーク上牟田）の職員が中心となり、隔月開催で各事業所の事例についてケース検討を行うことで、利用者支援の理解を深め支援技術の向上に努めました。

エ 研修プログラム策定委員会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から実施しませんでした。

4 職員について

（1）職場環境等の改善について

①個人でソーシャルメディアを利用する際に不適切な投稿等によって大きな社会問題となった現状を踏まえ、当法人のソーシャルメディア利用管理規程を改正しそのリスクについて理解し、利益や権利を侵害しないように周知しました。

②処遇改善加算と特定処遇加算申請の検討について

月2万円の処遇改善手当や昇給分等に充てて職員に支給し処遇改善を図りました。また、特定処遇改善加算について検討を行い、一時金等で支給しました。

職員の給与面での改善のみならず、資格取得や職場定着につながるよう取り組みます。

③職員登用試験の実施。

1月から2月にかけて職員登用試験を実施。その結果、13名が受験し、8名を正規職員等に登用しました。

(2) 研修について

①一般研修

コロナの感染拡大により法人独自の研修は実施できませんでした。

②中堅職員研修

コロナの感染拡大により法人独自の研修は実施できませんでした。

③施設長研修

1月29日 施設長研修

(一社)全国手をつなぐ育成会連合会常務理事・事務局長の又村あおい氏による報酬改定と国の障がい福祉施策についてWEB研修会実施

④人権・虐待防止研修

虐待権利擁護・虐待防止機能に関する検討会議(虐待防止委員会)の報告のとおりです。

⑤新任職員フォローアップ研修(研修プログラム策定委員会主催)

コロナの感染拡大により法人独自の研修は実施できませんでした。

⑥専門研修

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から実施しませんでした。

⑦その他の研修

各機関(県、市、社協)、施設種別ごとの研修会、民間外部研修等にWEB会議システムを利用して参加しました。

(3) 職員採用について

職員の採用については、人材確保が非常に困難な状況でしたが、事業所と連携して対応し、職員確保を図りました。そのため、福祉の合同職場面談会に参加するだけでなく、初めて一般企業向けの職場合同説明会にも参加しました。また、ハローワークだけでなく各福祉系学校を訪問し当法人の求人について周知に努めました。

5 社会福祉法人が果たすべき地域貢献について

社会福祉法人が果たすべき公益的な地域貢献の役割については、「ふくおかライフレスキュー事業」に参画し事業運営に協力しました。

6 関係団体との連携強化

(1) 全国手をつなぐ育成会連合会の全国大会及び九州地区手をつなぐ育成会連絡協議会と連携し情報の収集を図りました。

大会参加状況

- ① 名称 第7回全国手をつなぐ育成会大会 愛媛大会
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から令和5年度に延期になりました。
- ② 名称 第60回九州地区手をつなぐ育成会 大分県大会
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から令和3年度に延期になりました。

(2) 保護者会との連携

育成会の各種大会の参加や日常業務に至るまで保護者会との連携を図り、事業推進と運動推進との一体的な取り組みに努めました。

(3) 手をつなぐがん保険の運営

育成会会員である知的障がいのある方と家族を対象のがん保険について、令和3年度より運用を開始しました。今後も保護者や本人に向けて周知に努めます。

7 情報提供活動

(1) 福岡市育成会だより（機関紙）発行

編集委員会（各部所から選出）を開催し機関紙を年4回発行しました。

法人の活動紹介だけでなく、消費生活センターの情報や保護者会からの災害時の対応等を掲載し広く周知に努めました。

発行部数 1, 500部

- ・ 166号 令和2年6月発行
- ・ 167号 令和2年10月発行
- ・ 168号 令和3年1月発行
- ・ 169号 令和3年3月発行

(2) 全日本育成会月刊誌「手をつなぐ」の配布

70部を配布し育成会の活動を購読者に知っていただいています。購読者の拡大が課題となっています。

8 相談支援活動

【知的障がい者相談員の相談活動】

福岡市から委嘱された相談員（26名）が毎週水曜日（10:00～15:00）に当番制で事務局において様々な相談に応じるほか、自宅においても電話による相談に応じました。コロナウイルス感染拡大防止の観点から、福岡市との協議のうえ電話相談を中心に対応しました。

また、研修会は年間をとおして2回実施しました。（コロナウイルス感染拡大防止の観点から、書面及びDVD・CDによる講義を行いました）

・相談回数 47回 ・相談件数 48件 ・研修 3回

【相談内容】

療 育	教 育	進 路	施 設 入 所	施 設 通 所	福 祉	人 権	余 暇
0	4	2	0	2	8	5	0
親 亡 き 後	医 療	結 婚	就 労	その他	合計		
1	2	0	10	23	57		

9 事業活動

(1) 事業部清掃事業

障がい者の就労事業として、令和2年度は9カ所の清掃業務の委託を受け、従業員18名、指導員9名のスタッフで業務を遂行しました。

(2) 緊急一時介護事業

福岡市から委託を受け、心身障がい児（者）がいる家庭において保護者等の疾病、事故、出産、冠婚葬祭等のために介護が困難な時に、家族に代わって介護ヘルパーが手助けを行いました。

【令和2年度実績】

区 分		数 値
利用登録者	総 数	73人
	18才未満	35人
	18才以上	38人
ヘルパー登録者数		58人
利用状況	利用者実数	3人
	利用者延べ日数	66日
介 護 時 間		350時間
利用者一人当たり平均年間介護時間		117時間

10 災害・緊急時の法人対応について

今年度は、九州地方に大型台風の接近や大雨災害が発生しましたが、法人内では特に被害はありませんでした。大雨警報時は、各事業所と連携を取り利用者・職員の安全確保に努めました。

また、緊急時の対応について、防災委員会で各事業所の委員と協議を行い連絡網等の整理を行いました。

新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、各事業所と密な情報交換に努め福岡県市の対応マニュアルに基づき運営を行い現在のところ感染者は出ておりません。

1 1 地域生活支援事業

(1) グループホームの運営

知的障がい者の自立や地域での生活を支援するため、3つのグループホーム（ひまわりハウス）を運営し、早良ひまわりハウスを中心にひまわり園及びひまわりパーク六本松・同上牟田の職員が連携し、毎週各ハウスを巡回し生活指導にあたる等、バックアップ機能として入居者の生活安定の支援を図りました。

早良ひまわりハウス1

設置年月日	平成29年4月1日
設置場所	福岡市早良区東入部1丁目9-1
利用者数	定員10名 現員10名

早良ひまわりハウス2

設置年月日	平成29年6月1日
設置場所	福岡市早良区東入部1丁目9-1
利用者数	定員5名 現員5名

第一ひまわりハウス

設置年月日	平成13年10月1日
設置場所	福岡市西区今宿東1丁目16-33
利用者数	定数4名 現員4名

第二ひまわりハウス

設置年月日	平成16年1月15日
設置場所	福岡市南区皿山1丁目9-39
利用者数	定数5名 現員4名

第三ひまわりハウス

設置年月日	平成25年3月1日
設置場所	福岡市西区壱岐団地34棟201・301号室
利用者数	定数4名 現員4名

1 2 スポーツ、文化活動への参加

(1) スポーツ関係

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から全て中止になりました。

(2) 文化活動関係

- ・令和2年度親子レクリエーション（福岡市こども未来局委託事業）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止しました。

・第12回福岡市障がい児・者美術展

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止となりました。

・令和2年度福岡市障がい者週間記念のつどい

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止となりました。

1.3 福祉施設の運営

(1) 福岡ひまわりの里（障がい者支援施設）

定 員 50名 実数 47名（令和3年3月31日現在）

事業内容 ① 生活介護事業 ② 施設入所支援事業

(2) ひまわり園（障がい福祉サービス事業所）

定 員 60名 実数 70名（令和3年3月31日現在）

事業内容 ① 就労移行支援事業 ② 就労継続支援事業B型
③ 生活介護事業

施設外事業 福岡市役所地下「星の広場」で飲食販売（就労移行支援事業）
店名「カフェ サンフラワー」

(3) ひまわりパーク六本松（障がい福祉サービス事業所）

定 員 36名 実数 35名（令和3年3月31日現在）

事業内容 ① 就労移行支援事業 ② 就労継続支援事業B型

(4) ひまわりパーク上牟田（障がい福祉サービス事業所）

定 員 40名 実数 35名（令和3年3月31日現在）

事業内容 ① 生活介護事業 ② 就労継続支援事業A型
③ 就労継続支援事業B型

(5) ライフサポートてをつなぐ（居宅介護事業所）

契約者数 32名 実利用者 28名 （令和3年3月31日現在）

事業内容 ①居宅介護事業
②移動支援事業

(6) 特定相談支援事業所ひまわり（計画相談支援事業所）

事業内容 ①障がい者指定特定相談支援事業
②障がい児指定特定相談支援事業

(7) 早良区第2 障がい者基幹相談支援センター

事業内容

①指定一般相談支援事業

②指定特定相談支援事業

③指定障がい児相談支援事業